

会計名			市道01-4号線他道路新設改良事業				担当部		建設部		
一般会計							担当課		道路建設課		
款	項	目					担当係		道路整備第2係		
8	2	3									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤								
		基本施策	道路・交通								
		施策の内容	道路の整備・保全								
	目的	既存道路の拡幅整備や、県道岡崎豊明線から主要地方道名古屋岡崎線までの道路整備を行うことで、歩行者の安全と円滑な交通を確保する。				主たる内容	市道01-4号線（起点：井ヶ谷町池之浦～終点：今川町交差点）の道路整備 延長 3,200m 幅員 13.5～15.0m （両側歩道 幅員 2.5～3.5m）				
		位置づけ									
		関連計画	刈谷市都市計画マスタープラン、刈谷市都市交通戦略								
		根拠法令	道路法								
	対象者	市民				事業期間	平成11年度～令和12年度				
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 O 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画			
・道路新設改良工事 222m （R2線越分） ・用地取得 80㎡ ・橋りょう工事 1橋		・道路新設改良工事 20m ・用地取得 120㎡		・道路新設改良工事 10m （R4線越分） ・道路新設改良工事 20m ・用地取得 120㎡		・交差点改良工事 1箇所 ・道路新設改良工事 10m ・移転補償 1式					
成果		道路整備を行うことにより、事業の進捗を図ることができた。									
課題		道路整備を進めるため、道路管理者との協議を継続して行う必要がある。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度			
活動指標		道路用地の面積取得率（％）			97.4	97.4	100.0	—	—		
活動指標		道路整備率（％）			91.9	91.9	92.2	92.8	93.8		
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳			
	事業費 ①		639,245	45,119	114,049	173,303	合計 114,048,775 円				
	財源	特定財源	490,770	23,545	80,675	103,600	委託料 6,373,708 円				
		一般財源	148,475	21,574	33,374	69,703	工事請負費 97,060,700 円				
	職員人件費 ②		13,779	7,755	7,289	0	公有財産購入費 8,052,701 円				
	総事業費（①＋②）		653,024	52,874	121,338	173,303	負担金、補助及び交付金 1,542,048 円				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称		補償、補填及び賠償金 1,019,618 円				
		5年度までの累積事業費		0	社会資本整備総合交付金						
7年度以降の事業費見込		0	都市交通施設整備基金 前年度繰越金								

会計名			市道01-4号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第2係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	当該路線は国道1号線と連絡する重要な路線であり、交通量が多い上に大型車の混入率が高い。また一部区間は通学路として利用されている。しかし、車線幅員や歩道幅員が狭く、交差点で慢性的な交通渋滞が発生しているため、交通の円滑化と安全性の向上を図る必要がある。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	社会資本整備総合交付金を活用することで、建設コストの低減に努めている。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		普通	ゆとりある暮らしを支える生活基盤として、道路の拡幅整備や交差点改良を行うことで、交通安全や生活利便性の向上を図るとともに企業の産業活動を促進する。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	道路の整備は、県道岡崎豊明線との交差点改良、及びバイパス区間は道路の拡幅が完了しており、交差点の渋滞緩和と旧道沿線地区の良好な住環境の形成（騒音や交通安全確保）に一定の効果がある。
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止		
	今川町交差点について道路工事を進める。				

会計名			市道01-40号線他道路新設改良事業				担当部		建設部		
一般会計							担当課		道路建設課		
款	項	目					担当係		道路整備第1係		
8	2	3									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤								
		基本施策	道路・交通								
		施策の内容	道路の整備・保全								
	目的	バイパス機能を持った幹線道路を整備することにより、慢性的な交通渋滞を緩和し、市街地に流入する通過交通を抑制する。				主たる内容	市道01-40号線（起点：中手町3丁目～終点：熊野町6丁目）の道路整備 延長 1,600m 幅員 12.0～15.5m				
		位置づけ									
		関連計画	刈谷市都市計画マスタープラン、刈谷市都市交通戦略								
		根拠法令	道路法								
	対象者	市民			事業期間	平成11年度～令和15年度					
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 O 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画			
・橋りょう下部工工事 1基 ・道路改良工事（附帯工） ・道路橋梁予備設計（R2線越分） ・工事用仮設道路工事（その3） ・逢妻川護岸工事 ・逢妻川護岸工事（その2）		・JR工事委託協定の締結（継続費R4～R7） ・橋りょう上部工製作（継続費R4～R7） ・道路改良工事（附帯工） ・用地整地工（R3線越分） ・橋りょう下部工工事 1基 ・道路橋梁予備設計		・JR工事委託（橋りょう下部工工事） 2基（継続費R4～R7） ・橋りょう上部工製作（継続費R4～R7）		・JR工事委託（橋りょう下部工工事） 2基（継続費R4～R7） ・橋りょう上部工製作（継続費R4～R7） ・道路予備設計 ・地質調査					
成果		JR工事委託や橋りょう上部工の施工管理を適切に行い、事業の進捗を図ることができた。また、国道155号北側における河川協議を進め、合意を得ることができた。									
課題		道路整備を進めるため、地権者との交渉を速やかに進める必要がある。									
指標名称（単位）				実績値		目標値					
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度			
活動指標		道路整備率（％）			12.7	13.5	15.1	17.5	20.6		
活動指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳			
	事業費 ①		299,611	166,662	354,557	1,223,307	合計 354,556,765 円				
	財源	特定財源	257,711	137,854	205,823	1,165,307	委託料 187,638,465 円				
		一般財源	41,900	28,808	148,734	58,000	使用料及び賃借料 2,421,300 円				
	職員人件費 ②		9,388	8,357	7,826	0	工事請負費 164,497,000 円				
	総事業費（①＋②）		308,999	175,019	362,383	1,223,307					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称					
		5年度までの累積事業費		0		社会資本整備総合交付金 前年度繰越金 都市交通施設整備基金					
7年度以降の事業費見込		0									

会計名			市道01-40号線他道路新設改良事業	担当部	建設部	
一般会計				担当課	道路建設課	
款	項	目		担当係	道路整備第1係	
8	2	3				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	市街地における交通渋滞が慢性化していることから、南北地区間の移動に時間を要している。また通過車両が生活道路に流入し、生活道路の交通安全の確保が危惧される状況であるため、これらの対策を講じる必要性が高い。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	長期的な展望から、（仮）南北縦貫道路の一部区間の整備を行い、将来的な道路網を形成するため、広く市民からの理解を得て事業を推進する。また、社会資本整備総合交付金を活用して道路整備を進める。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	バイパス機能を持つ道路整備を行うことで、交通の円滑化や市街地内の渋滞が緩和され、地域間の交流が活発になる。また市民の身近な道路の安全性が確保されることで、良好な住環境が提供できる。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	道路整備により、既存の幹線道路の混雑緩和と生活利便性の向上が期待できる。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	JR工事委託協定に基づき、JRが施工する工事について関係機関との調整および進捗管理を実施する。 また、橋りょう上部工の施工管理と道路設計を進める。					

会計名			市道02-5号線他道路新設改良事業				担当部		建設部		
一般会計							担当課		道路建設課		
款	項	目					担当係		道路整備第1係		
8	2	3									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤								
		基本施策	道路・交通								
		施策の内容	道路の整備・保全								
	目的	県道宮上知立線の整備に伴い設置される交差点に接続する道路を整備することにより、県道に分断される地区の安全及び利便性を確保する。				主たる内容	市道02-5号線他（起点：一里山町伐払～終点：一里山町南本山）の道路整備 延長 2,300m 幅員 6.0～13.0m				
		位置づけ									
		関連計画									
		根拠法令	道路法								
	対象者	市民				事業期間	平成26年度～令和10年度				
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画 V	3年度実績	(R2線越分含む)		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
・道路新設改良工事 775m ・用地取得 6,775㎡			・道路新設改良工事 50m ・用地取得 724㎡ ・道路修正設計 1式 (R3線越分) ・道路新設改良工事 510m ・用地取得 337㎡		・道路新設改良工事 440m ・用地取得 56㎡ (R4線越分) ・道路新設改良工事 310m ・用地取得 2,332㎡		・道路新設改良工事 100m (R5線越分) ・道路新設改良工事 440m ・用地取得 894㎡				
成果			道路設計及び用地取得を行うことにより、事業の進捗を図ることができた。								
課題			道路整備を進めるため、地権者交渉及び関係機関協議を速やかに行う必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度			
活動指標		道路用地の面積取得率（％）			58.7	71.7	90.9	99.3	100.0		
活動指標		道路整備率（％）			0.0	28.3	52.2	65.2	83.5		
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳			
	事業費 ①		367,436	435,613	277,596	367,207	合計 277,595,861 円				
	財源	特定財源	256,159	376,129	213,080	366,607	需用費 36,900 円 委託料 1,885,433 円 使用料及び賃借料 1,682,766 円 工事請負費 201,933,600 円 公有財産購入費 57,652,937 円 補償、補填及び賠償金 14,404,225 円				
		一般財源	111,277	59,484	64,516	600					
	職員人件費 ②		18,321	23,792	23,249	0					
	総事業費（①＋②）		385,757	459,405	300,845	367,207					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称					
		5年度までの累積事業費		0		都市交通施設整備基金 前年度繰越金					
		7年度以降の事業費見込		0							

会計名			市道02-5号線他道路新設改良事業	担当部	建設部	
一般会計				担当課	道路建設課	
款	項	目		担当係	道路整備第1係	
8	2	3				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	県道宮上知立線により分断される地区の利便性及び安全を確保に必要な事業である。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	県道整備の事業進捗に合わせて、用地購入、道路整備を進めていくため、効率的な事業進捗が図れる。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	市民生活の利便性及び安全を確保するため、公共性の高い事業である。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	普通	県道宮上知立線により分断される地区の往来が可能となる。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	市民の利便性を確保するため、必要となる市道を整備し、交通の円滑化を図る必要がある。					

会計名			市道02-14号線他道路新設改良事業				担当部		建設部	
一般会計							担当課		道路建設課	
款	項	目					担当係		道路整備第2係	
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備・保全							
	目的	県道今川刈谷停車場線から一般廃棄物処理場へのアクセス道路として整備を行うとともに、泉田地区の幹線道路として周辺住民の利便性を向上させる。				主たる内容	市道02-14号線（起点：泉田町折戸～終点：泉田町南新田）の道路整備 延長 1,840m 幅員 12.0m			
		位置づけ								
		関連計画								
		根拠法令	道路法							
	対象者	市民				事業期間	～ 令和7年度			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績	4年度実績		5年度実績		6年度計画			
・道路詳細設計 ・用地管理工事 ・用地取得 1,286㎡			・用排水路整備工事 360m（R3繰越分） ・道路詳細設計		・道路新設改良工事 180m（R4繰越分） ・用排水路整備工事 360m		・道路新設改良工事 160m（R5繰越分） ・道路新設改良工事 180m			
成果			道路整備を行うことにより、事業の進捗を図ることができた。							
課題			道路整備を進めるため、地権者や耕作者と調整を行う必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			3年度	4年度	5年度	6年度	8年度			
活動指標		道路整備率（％）		76.1	80.1	87.7	95.2	100.0		
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		63,048	21,252	97,856	168,771	合計 97,856,416 円			
	財源	特定財源	0	21,252	81,655	168,771	使用料及び賃借料 405,216 円			
		一般財源	63,048	0	16,201	0	工事請負費 97,451,200 円			
	職員人件費 ②		2,309	4,216	3,530	0				
	総事業費（①＋②）		65,357	25,468	101,386	168,771				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称					
		5年度までの累積事業費		0	前年度繰越金 市町村土木事業費補助金 都市交通施設整備基金					
7年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道02-14号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第2係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	不燃物処理場へ向かうアクセス道路で、泉田地区内の主要な道路となり、市民の利便性向上に重要な道路である。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	整備効果を早急に発揮できるよう、整備必要期間を可能な限り短くするよう調整を行う。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		普通	市民生活の利便性及び安全を確保するため、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		普通	不燃物処理場利用者及び地域住民の利便性が向上すると共に、安全で円滑な交通が確保できる。
	今後の方向性		□ 拡充 □ 現状維持 □ 改善・効率化 □ 縮小 ■ 終期設定 □ 休止・廃止		
	早期供用開始が可能となるよう、関係機関との協議を行い、道路工事を進める。				

会計名			市道2-485号線他道路新設改良事業				担当部		建設部		
一般会計							担当課		道路建設課		
款	項	目					担当係		道路整備第2係		
8	2	3									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤								
		基本施策	道路・交通								
		施策の内容	道路の整備・保全								
	目的	道路を拡幅し、歩道を設置することで、歩行者の安全確保及び地域の住環境の向上を図る。				主たる内容	市道2-485号線（起点：銀座5丁目～終点：銀座4丁目）の道路整備 延長 212m 道路幅員 10.0m 車道幅員 7.0m 歩道幅員（片側） 3.0m 電線類地中化				
		位置づけ									
		関連計画	刈谷市中心市街地まちづくり基本計画、刈谷市無電柱化推進計画								
		根拠法令	道路法、無電柱化の推進に関する法律、電線共同溝の整備等に関する特別措置法								
	対象者	市民				事業期間	平成13年度～令和6年度				
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画 V	3年度実績	(R2線越分) ・電線類地中化工事 90m		4年度実績 ・道路新設改良工事 190m		5年度実績 ・道路新設改良工事 300m		6年度計画		
成果		道路整備を行うことにより、事業を完了することができた。									
課題											
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度			
活動指標		道路整備率（％）			50.0	75.0	100.0	—	—		
活動指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳				
	事業費①		107,844	112,652	34,133	57,187	合計	34,133,000 円			
	財源	特定財源	70,441	65,001	19,000	57,187	委託料	1,320,000 円			
		一般財源	37,403	47,651	15,133	0	工事請負費	32,813,000 円			
	職員人件費②		5,981	3,463	2,686	0					
	総事業費（①＋②）		113,825	116,115	36,819	57,187					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称					
		5年度までの累積事業費		0		都市交通施設整備基金					
		7年度以降の事業費見込		0							

会計名			市道2-485号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第2係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	生活道路を拡幅し、歩車道を分離することにより、歩行者・自動車が安全に通行できる。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	両側拡幅ではなく、南側拡幅とすることで、物件補償費が軽減できる。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		普通	市民生活を安全かつ快適にするため、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		普通	道路拡幅により、一方通行であった路線を交互通行とすることができるため、利用者の利便性が向上する。
	今後の方向性		□拡充 □現状維持 □改善・効率化 □縮小 □終期設定 ■休止・廃止		
	令和6年4月完了				

会計名			市道3-347号線他道路新設改良事業				担当部		建設部	
一般会計							担当課		道路建設課	
款	項	目					担当係		道路整備第2係	
8	2	3								

P
L
A
N
ハ
計
画
V

事業概要

総合計画 施策体系	分野	都市基盤						
	基本施策	道路・交通						
	施策の内容	道路の整備・保全						
目的	工業用地の基盤となる道路整備を行うことで、企業立地の促進を図る。				主たる内容	市道3-347号線他（起点：野田町新田～終点：野田町大流）の道路整備 延長 620m 幅員 9.0m		
位置づけ	関連計画	刈谷市都市計画マスタープラン、企業立地推進ビジョン						
	根拠法令	道路法						
	対象者	市民			事業期間	平成28年度～令和5年度		
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						

B
D
O
ハ
実
施
V

事業実績

3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
(R2繰越分) ・道路新設改良工事 200m		・道路新設改良工事 110m		・道路新設改良工事 200m (R4繰越分) ・道路新設改良工事 110m				
成果	道路整備を行うことにより、事業を完了することができた。							
課題								
指標名称（単位）				実績値		目標値		
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度
活動指標	道路整備率（％）			50.0	67.7	100.0	—	—
活動指標								
他市との比較検証								

C
事
業
コ
ス
ト

単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
事業費 ①		54,958	0	162,982	0	合計	162,981,500 円
財源	特定財源	54,958	0	117,157	0	工事請負費	162,981,500 円
	一般財源	0	0	45,825	0		
職員人件費 ②		2,196	3,840	3,530	0		
総事業費（①＋②）		57,154	3,840	166,512	0		
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称			
	5年度までの累積事業費		0	都市交通施設整備基金 前年度繰越金			
	7年度以降の事業費見込		0				

会計名			市道3-347号線他道路新設改良事業	担当部	建設部	
一般会計				担当課	道路建設課	
款	項	目		担当係	道路整備第2係	
8	2	3				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	工場立地に必要な基盤をつくるため、道路整備の必要がある。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	工場立地可能な必要最小限の整備区間にしている。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施するべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	工場立地を円滑に誘導するには、市が主体となって整備する必要がある。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	普通	道路整備により工場立地が可能となり、工場用地が確保できる。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	令和6年3月完了					

会計名			市道3-928号線他道路新設改良事業				担当部		建設部	
一般会計							担当課		道路建設課	
款							担当係		事業推進係	
項										
目										
8			2		3					

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備・保全						
	目的	愛知県が施工する県道小垣江安城線の周辺道路を整備することにより、県道により分断される地区の利便性及び安全性を確保する。				主たる内容	市道3-928号線（起点：小垣江町東高根～終点：小垣江町東山田）の道路整備 延長 270m 幅員 6.0～12.6m		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	道路法						
		対象者	市民			事業期間	平成30年度～令和7年度		
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							

BDO 事業実績 計画 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画			
	・道路予備設計（R2繰越分） ・用地取得 2.7㎡		・道路詳細設計 ・用水詳細設計負担金（R3繰越分含む） ・用地取得 1,594㎡		・明治用水移設負担金		・道路工事負担金 430m（県施行工事） ・用地取得 50㎡			
	成果	用水管移設を行うことにより、事業の進捗を図ることができた。								
	課題	道路整備を進めるため、地権者との交渉を速やかに行う必要がある。								
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					3年度	4年度	5年度	6年度	8年度	
	活動指標	道水路用地の面積取得率（％）				60.3	98.8	98.8	100.0	—
	活動指標									
	他市との比較検証									

C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		9,301	63,854	49,975	61,786	合計 49,975,200 円		
	財源	特定財源	141	41,989	24,000	31,702	負担金、補助及び交付金 49,975,200 円		
		一般財源	9,160	21,865	25,975	30,084			
	職員人件費 ②		3,672	8,583	2,839	0			
	総事業費（①＋②）		12,973	72,437	52,814	61,786			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称			
		5年度までの累積事業費		0		都市交通施設整備基金繰入金			
		7年度以降の事業費見込		0					

会計名			市道3-928号線他道路新設改良事業	担当部	建設部	
一般会計				担当課	道路建設課	
款	項	目		担当係	事業推進係	
8	2	3				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	県道小垣江安城線整備により分断される地区の利便性及び安全性を確保するため必要である。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	県道整備の事業進捗に合わせて、用地購入、工事を進めていくため、効率的な事業進捗が図れる。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	市民生活の利便性及び安全を確保するため、公共性の高い事業である。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	普通	道路整備により、県道整備で分断された地区の往来が可能になる。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☒ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	県道小垣江安城線の事業進捗状況にあわせ、用地取得、道路整備を進めていく。					

会計名			交差点改良事業				担当部		建設部				
一般会計							担当課		道路建設課				
款	項	目					担当係		道路整備第1係				
8	2	3											
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤										
		基本施策	道路・交通										
		施策の内容	道路の整備・保全										
	目的	東境町地内の交通事故が多発する交差点の道路拡幅を行うことで、事故防止及び渋滞解消を図る。				主たる内容	○交差点改良 延長 140m 幅員 6.5m 施工場所 東境町						
	位置づけ	関連計画											
		根拠法令	道路法										
		対象者	市民			事業期間	令和5年度 ～ 令和7年度						
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他											
BDO 事業実績 計画V	3年度実績			4年度実績		5年度実績		6年度計画					
										・道路詳細設計			
												・用地取得 205㎡ （R5繰越分） ・道路詳細設計	
	成果	道路設計を行い、事業の進捗を図ることができた。											
	課題	道路用地取得のため、地権者との交渉を速やかに進める必要がある。											
	指標名称（単位）				実績値			目標値					
					3年度	4年度	5年度	6年度	8年度				
	活動指標	道路用地の面積取得率（％）			—	—	—	100.0	—				
	指標												
他市との比較検証													
C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳						
	事業費 ①		0	0	4,785	16,681	合計 4,784,637 円						
	財源	特定財源	0	0	0	6,358	委託料 4,784,637 円						
		一般財源	0	0	4,785	10,323							
	職員人件費 ②		0	0	1,381	0							
	総事業費（①＋②）		0	0	6,166	16,681							
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称								
		5年度までの累積事業費		0									
		7年度以降の事業費見込		0									

会計名			交差点改良事業	担当部	建設部		
一般会計				担当課	道路建設課		
款	項	目		担当係	道路整備第1係		
8	2	3					
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由		
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	交通事故多発箇所であり、道路利用者の安全な通行を確保するため、必要な事業である。		
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	用地取得面積を極力抑えた計画とすることでコスト縮減を図っている。		
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	道路利用者の安全性の向上を目的に実施されている事業である。		
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	普通	道路拡幅により、道路利用者の安全性が高まる。		
		今後の方向性		☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☒ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
		早期完了に向け、引き続き事業を推進する。					

会計名			ウイングデッキ整備事業				担当部	建設部	
一般会計							担当課	道路建設課	
款	項	目					担当係	事業推進係	
8	4	3						道路整備第2係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	安全・快適な歩行空間の充実						
	目的	刈谷市中心市街地まちづくり基本計画に基づく刈谷駅周辺の「人を引き寄せる回遊と賑わいのあるまちづくり」に向けて、安全で快適な歩行空間を形成する。				主たる内容	○横断歩道橋整備 1箇所 ○南北連絡通路延伸整備 1箇所		
		位置づけ	関連計画 刈谷市中心市街地まちづくり基本計画						
		根拠法令	道路法、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律						
		対象者	市民		事業期間		令和2年度 ～ 令和8年度		
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画	
		(R2繰越分含む) ・愛知県が整備する横断歩道橋への負担金		・市が整備するウイングデッキの詳細設計 (R3繰越分含む) ・愛知県が整備する横断歩道橋への負担金		・愛知県が整備する横断歩道橋への負担金 ・市が整備するウイングデッキの詳細設計		・市が整備するウイングデッキの工事（下部工）	
成果		関係者と協議を行うことにより、事業の進捗が図ることができた。							
課題		道路整備を進めるため、関係者や民間事業と協議・調整を速やかに行う必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度	
活動指標		ウイングデッキ（横断歩道橋）整備率（％）		52.9	99.2	100.0	100.0	100.0	
活動指標		ウイングデッキ（南北連絡通路延伸）整備率（％）		0.0	0.0	0.0	3.3	100.0	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
	事業費 ①		284,040	226,892	125,093	177,894	合計 125,092,541 円		
	財源	特定財源	189,202	193,546	125,063	176,900	委託料 121,110,000 円		
		一般財源	94,838	33,346	30	994	使用料及び賃借料 29,141 円		
	職員人件費 ②		1,666	6,626	4,911	0	負担金、補助及び交付金 3,953,400 円		
	総事業費（①＋②）		285,706	233,518	130,004	177,894			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称			
		5年度までの累積事業費		0		都市構造再編集集中支援事業費補助金、前年度繰越金			
		7年度以降の事業費見込		0					

会計名			ウイングデッキ整備事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	4	3			道路整備第2係
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	バリアフリー経路として指定されていることから、誰もが安全に快適に移動できる空間を確保する必要がある。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	愛知県や民間整備と連携することで、整備効果をより効率よく発揮できる。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		普通	各種計画に位置付けられた施設であり、市が率先し主体となって進める必要がある。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	安全で快適な歩行空間の確保が可能となる。
	今後の方向性		□ 拡充 ■ 現状維持 □ 改善・効率化 □ 縮小 □ 終期設定 □ 休止・廃止		
	民間との事業進捗を調整し、遅れが出ないよう事業進捗を図る。				

会計名 一般会計			都市計画道路3・4・551刈谷環状線電 線類地中化事業				担当部		建設部		
款 項 目							担当課		道路建設課		
8 4 3							担当係		道路整備第2係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤								
		基本施策	道路・交通								
		施策の内容	安全・快適な歩行空間の充実								
	目的	歩道内の電線類を地中に埋設することで、安全で快適な歩行空間を確保するとともに、発災時における緊急輸送道路としての機能を確保する。				主たる内容	都市計画道路刈谷環状線（起点：高松町1丁目～終点：住吉町3丁目）の道路整備 延長 474m 幅員 15.0m 電線類地中化 バリアフリー化				
		位置づけ	関連計画 刈谷市都市計画マスタープラン、刈谷市無電柱推進計画								
		根拠法令	道路法、電線共同溝整備等に関する特別措置法、無電柱化の推進に関する法律、都市計画法								
		対象者	市民				事業期間	平成25年度～令和5年度			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績	4年度実績		5年度実績			6年度計画			
			・電線類地中化工事 125m		(R3繰越分) ・電線類地中化工事 209m		(R4繰越分) ・道路舗装工事 510m				
成果			電線管理者等と調整しながら、道路整備を行うことにより、事業を完了することができた。								
課題											
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度			
活動指標		電線類地中化・道路整備率（％）			75.2	90.0	100.0	—	—		
指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳			
	事業費 ①		117,634	162,642	54,893	0	合計	54,893,300 円			
	財源	特定財源	74,490	145,973	54,893	0	工事請負費	54,893,300 円			
		一般財源	43,144	16,669	0	0					
	職員人件費 ②		4,164	3,990	3,069	0					
	総事業費（①＋②）		121,798	166,632	57,962	0					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称					
		5年度までの累積事業費		0		前年度繰越金					
		7年度以降の事業費見込		0							

会計名			都市計画道路3・4・551刈谷環状線電 線類地中化事業		担当部	建設部
一般会計					担当課	道路建設課
款	項	目			担当係	道路整備第2係
8	4	3				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	電線類地中化は、緊急輸送道路の機能確保及び歩行者の安全で快適な歩行空間を確保する上で必要である。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	電線類地中化に合わせて、歩道のバリアフリー化を実施することでコストの縮減を行い、効率的な事業進捗を図るとともに経費の節減が図られる。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	道路の改良事業であるため、道路管理者が行うべき公共性の高い事業である。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	電線類地中化を行うことで良好な歩行空間が確保され、市民が利用しやすい道路とすることができる。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	令和6年3月完了					

会計名			道路用地等管理事業				担当部	建設部	
一般会計							担当課	道路建設課	
款	項	目					担当係	道路整備第2係	
8	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備・保全						
	目的	取得済み道路用地等の草刈り、碎石敷均し等を行い安全面等の維持管理を図る。				主たる内容	取得した用地を整備実施するまでの期間、定期的に草刈を行う。また、必要に応じ安全面を考慮して碎石の敷均しを行う。		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者						事業期間	～	
実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
	・道路事業用地管理（除草、碎石敷均し）		・道路事業用地管理（除草、碎石敷均し、防草シート整備）		・道路事業用地管理（除草、碎石敷均し）		・道路事業用地管理（除草、碎石敷均し）		
	成果	道路用地として取得した土地の維持管理が適切に行われている。							
	課題								
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					3年度	4年度	5年度	6年度	8年度
	指標								
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		5,962	11,972	9,833	10,048	合計	9,832,900 円	
	財源	特定財源	691	38	1,003	1	委託料	7,566,900 円	
		一般財源	5,271	11,934	8,830	10,047	工事請負費	2,266,000 円	
	職員人件費 ②		1,037	1,468	1,343	0			
	総事業費（①＋②）		6,999	13,440	11,176	10,048			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称			
		5年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料			
		7年度以降の事業費見込		0					

会計名			道路調査事業				担当部		建設部			
一般会計							担当課		道路建設課			
款							項目		担当係		事業推進係	
8							2		3			
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野		都市基盤								
		基本施策		道路・交通								
		施策の内容		道路の整備・保全								
	目的		整備が必要な道路の基礎的調査を行い、交通の円滑化と安全を確保する。			主たる内容		各整備候補路線の基本的検討を行う。 ○（都）刈谷環状線（市道01 - 36号線）				
	位置づけ	関連計画		都市計画マスタープラン								
		根拠法令		道路法								
	対象者		市民			事業期間		～				
	実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画				
		・道路予備設計（豊田町）		・電線類地中化予備設計（豊田町） （R4繰越分） ・道路予備設計（豊田町）		・道路予備設計（一里山町） （R5繰越分） ・電線類地中化予備設計（豊田町）						
成果		各種検討を行うことにより、今後の事業の進め方を検討することができた。										
課題		新規路線の事業化に向け、関係機関との協議を継続して行う必要がある。										
指標名称（単位）				実績値			目標値					
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度				
活動指標												
活動指標												
他市との比較検証												
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳				
	事業費 ①		0	8,142	16,270	20,000	合計 16,269,748 円					
	財源	特定財源	0	70	7,007	7,000	委託料 16,269,748 円					
		一般財源	0	8,072	9,263	13,000						
	職員人件費 ②		0	1,732	3,990	0						
	総事業費（①＋②）		0	9,874	20,260	20,000						
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称							
		5年度までの累積事業費		0	前年度繰越金							
		7年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道1-87号線他道路新設改良事業				担当部		建設部			
一般会計							担当課		道路建設課			
款							項目		担当係		事業推進係	
8							2		3			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野		都市基盤								
		基本施策		道路・交通								
		施策の内容		道路の整備・保全								
	目的		歩道設置及び交差点の改良を行い、井ヶ谷町地内愛知教育大学前交差点の円滑化を図り、児童、園児の登下校の安全性を確保する。				主たる内容	市道1-87号線（起点：井ヶ谷町下前田～終点：井ヶ谷町中前田）の道路整備 延長 290.0m 幅員 9.0m				
	位置づけ	関連計画										
		根拠法令		道路法								
	対象者		市民				事業期間		令和5年度～			
	実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画				
						・道路詳細設計 ・用地取得 595㎡		(R5繰越) ・道路詳細設計 ・用地取得 25㎡				
成果		道路設計及び用地取得を行うことにより、事業の進捗を図ることができた。										
課題		道路整備を進めるため、地権者との交渉及び関係機関との協議を速やかに行う必要がある。										
指標名称（単位）				実績値			目標値					
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度				
成果指標		道路整備率（％）			—	—	0.0	0.0	14.1			
活動指標												
他市との比較検証												
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳				
	事業費 ①		0	0	59,654	23,143	合計 59,654,200 円					
	財源	特定財源	0	0	0	23,143	需用費 30,200 円					
		一般財源	0	0	59,654	0	委託料 4,884,000 円					
	職員人件費 ②		0	0	2,609	0	公有財産購入費 54,740,000 円					
	総事業費（①＋②）		0	0	62,263	23,143						
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称						
		5年度までの累積事業費		0								
		7年度以降の事業費見込		0								

会計名			橋りょう補強事業				担当部		建設部	
一般会計							担当課		道路建設課	
款	項	目					担当係		道路整備第1係	
8	2	4								

P
L
A
N
ハ
計
画
V

総合計画
施策体系

分野
福祉安心

基本施策
防災

施策の内容
災害に強いまちづくり

目的

避難路に架かる橋りょうの耐震化を促進することで、地震発生後の道路機能を確保し、避難する市民の安全性を高める。

主たる内容

橋りょう耐震補強工事
37橋

位置づけ

関連計画
地域防災計画、地震対策アクションプラン

根拠法令
道路法

対象者
市民

事業期間
平成24年度～

実施方法
■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他

B
D
O
ハ
実
施
V

事業概要

3年度実績

4年度実績

5年度実績

6年度計画

成果

課題

指標名称（単位）

実績値

目標値

活動指標

指標

他市との比較検証

単位：千円

3年度（決算）

4年度（決算）

5年度（決算）

6年度（予算）

5年度事業費内訳

事業費①

特定財源

一般財源

職員人件費②

総事業費（①＋②）

建設事業

全体事業費（単位：千円）

5年度までの累積事業費

7年度以降の事業費見込

5年度特定財源名称

前年度繰越金

会計名 一般会計			都市計画道路3・4・9逢見線電線類地中化事業				担当部		建設部		
款 項 目							担当課		道路建設課		
8 4 3							担当係		道路整備第2係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤								
		基本施策	道路・交通								
		施策の内容	安全・快適な歩行空間の充実								
	目的	刈谷市中心市街地まちづくり基本計画に基づく刈谷駅周辺の「人を引き寄せる回遊とにぎわいのあるまちづくり」に向けて、歩道内の電柱及び電線を、地中に埋没することで、安心して快適な歩行空間を確保し、市民が安心して歩けるまちづくりを進める。				主たる内容	都市計画道路逢見線（起点：桜町1丁目～終点：桜町2丁目）の道路整備 延長 224m 幅員 18.0m 電線類地中化 バリアフリー化				
		位置づけ									
		関連計画	刈谷都市計画マスタープラン、刈谷市無電柱化推進計画								
		根拠法令	道路法、電線共同溝整備等に関する特別措置法、無電柱化の推進に関する法律、都市計画法								
	対象者		市民			事業期間		令和5年度 ～ 令和13年度			
	実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画			
				・道路影響等調査設計 ・電線共同溝詳細設計		(R5繰越分) ・道路影響等調査設計 ・電線共同溝詳細設計					
成果		調査設計及び道路設計を行うことにより、事業の進捗を図ることができた。									
課題		道路整備を進めるため、関連する事業や各電線管理者等との調整を速やかに行う必要がある。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度			
活動指標		電線類地中化整備率（％）			—	—	0.0	0.0	36.5		
活動指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	0	0	合計 0 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0					
		一般財源	0	0	0	0					
	職員人件費 ②		0	0	0	0					
	総事業費（①＋②）		0	0	0	0					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		413,793		5年度特定財源名称					
		5年度までの累積事業費		22,500							
7年度以降の事業費見込		391,293									